

編集・発行 農林水産省農産局技術普及課

このメールマガジンは、普及事業に関する情報などを、登録された皆様に無料でお届けするものです。もし、まわりに登録されていない方がいましたら、ぜひ登録をお勧めください。

【技術普及課からのお知らせ】

☆新型コロナウイルスに係る業種別ガイドライン（農業）が改定されました

☆農業者の高齢期の生活を支えるための公的年金である「農業者年金」の普及
推進をお願いします

☆農林水産政策研究所シンポジウム「農福連携の広がりと今後の可能性」のご案内

=====

=====

「グリーンな栽培体系」の取組や販路拡大に向けたシンポジウムを令和5年1月25日（水曜日）に開催します。グリーンな栽培体系の取組の紹介や、独自の基準で取り組んでいる農産物等における課題や仕入れ、販売動向の変化についての講演のほか、生産、流通、消費など各分野の有識者によるパネルディスカッションを実施いたします。

環境にやさしい栽培指導に取り組まれている普及指導員の皆様の参考になる
よい機会かと思っておりますので、積極的なご参加と周知についてご協力のほどよろ
しくお願いします。

○グリーンな栽培体系シンポジウム

○セミナー申込サイト（グリーンな栽培体系のシンポジウム参加申込フォーム）

https://share.hsforms.com/1a07Yt6vcQ6mj1l7Jyo_obAcd2d2

農林水産省 農産局 技術普及課 (担当：湊上、池田、道端)

$$(0\ 3 - 3\ 5\ 0\ 1 - 3\ 7\ 6\ 9)$$

◆新型コロナウイルスに係る業種別ガイドライン（農業）が改定されました

令和4年9月8日に開催された新型コロナウイルス感染症対策本部において、「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」が変更されたことを踏まえ、（公社）大日本農会において、標記ガイドラインが改定されました。

【改定のポイント】

- ①マスクの着用について、場面に応じた適切な着脱を求める内容に変更
- ②一般的な事業所内で感染者が発生した場合、一律の積極的疫学調査、濃厚接触者の特定及び行動制限は求められていないことから、全般的に保健所に関する記載を省略
- ③重症化リスクの少ない者で症状が軽い場合は、健康フォローアップセンターへの登録・活用を求める記載を追記
- ④接触確認アプリ（COCOA）は順次機能停止予定のため、利用を呼びかける記載を削除

普及指導員の皆様におかれましては、農業者等から新型コロナウイルス感染症に係る問い合わせがあった際、本ガイドラインをご活用ください。

▼詳細はこちら

○（公社）大日本農会

<https://www.dainihon-noukai.or.jp/news>

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課（担当：福田、栗野）

（03-3593-6497）

++・…… 施策情報 ……・++

◆農業者の高齢期の生活を支えるための公的年金である「農業者年金」の普及推進をお願いします

【独立行政法人農業者年金基金】

農業者年金は、農業者の老後生活の安定と福祉の向上を図るとともに、農業者の確保に資することを目的とした公的年金で、「積立方式・確定拠出型」の終身年金です。

農業者なら広く加入でき、月額保険料は千円単位で自由に決められるほか、税制面の優遇措置が受けられる等、多くのメリットがあります。

また、認定農業者で青色申告を行う者等、一定の要件を満たす農業者は、最大月額1万円の国庫補助が受けられる「政策支援加入」も選択できます。様々な年金がありますが、保険料の国庫補助があるのは農業者年金だけです。

普及指導員の皆様におかれましては、農業者に農業者年金の魅力を伝えていただきますよう、よろしくお願いします。

▼詳細はこちら

<https://www.nounen.go.jp/>

※お問い合わせ先

独立行政法人農業者年金基金（専門相談員）（03-3502-3199）
農林水産省 経営局 経営政策課 年金業務班
（03-6738-6163）

=====

◆農林水産政策研究所シンポジウム「農福連携の広がりと今後の可能性」のご案内

【農林水産政策研究所】

=====

農林水産政策研究所では、令和4年度農林水産政策研究所シンポジウムを開催します。東京都健康長寿医療センター等と令和2年度より連携し、農福連携の地域経済・社会への効果に関する分析や、農作業が精神機能に与える効果、心身や生産性向上に与える効果、認知症がある人への効果、医療現場への農福連携の実装、高齢化の進んだ都市部における農業を用いた地域づくりの研究などを進めてきました。

本シンポジウムでは、日本農福連携協会皆川芳嗣会長理事に基調講演をいただくとともに、千葉大学吉田行郷氏、農研機構西日本農業研究センター中本英里氏、兵庫県立大学大学院豊田正博氏、東京都健康長寿医療センター岡村毅氏、当研究所小柴有里江主任研究官より、今般の研究成果を報告します。農業・福祉関係者をはじめ、広く国民の皆様にご関心をもっていただける内容と思います。

普及指導員の皆様のご参加をお待ちしています。

【日時】 令和5年1月16日（月）13:00～16:30（申込締切1月12日（木））

【開催方式】 Web 開催

▼詳細はこちら

○令和4年度農林水産政策研究所シンポジウム

「農福連携の広がりと今後の可能性」

<https://www.maff.go.jp/primaff/koho/seminar/2022/20230116.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農林水産政策研究所（担当：角田、澤田）

（03-6737-9006）

編集後記

街のあちこちでイルミネーションの点灯が始まり、クリスマス・年末の季節がもうやってきたのかと時の流れの速さに驚かされます。今年も残りわずかとなりますが、寒い日が続きますので、くれぐれもお体には気を付けてお過ごしください。来年もe-普及だよりをよろしく願いいたします。

◎編集担当A◎

のボタンで Adobe Reader をダウンロードしてください。